

平成20年度重点事業について

おかやま酪農業協同組合

I. 基本方針

酪農を取り巻く状況は、乳価値上げは実現したものの要求には届かず、飼料価格の高騰等により極めて厳しい経営環境下にあります。

対外的には、WTO農業交渉や日豪EPA交渉の進展、国内的には牛乳消費の低迷などの諸問題が山積しています。

このような環境下でおからく発足7年目を迎え、組合員の負託に応えると共に組織の強化のため、事業の効率化を更に進めて参る所存です。組合員、関係諸機関の皆様方の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業重点推進目標

1. 生乳生産量 112,000 トン、購買取扱数量 100,000 トン、流通取扱頭数 11,000 頭を目標として取り組みます。
2. 生乳計画生産の目標を達成します。
3. 生乳の安全・安心（ホジティブリスト制）確保に取り組みます。
4. 生産基盤の強化を図ります。
5. 組合全面利用の推進を図ります。
6. 経営、乳質改善、飼養管理技術の指導強化を図ります。
7. 財務の拡充を図ります。

II. 各事業の運営方針

1. 生産指導事業

ホジティブリスト制度のもと、生乳の安全・安心の確保を図るため生産管理の徹底とチェックシート記入励行を推進します。関係機関の指導を得てカウコンフォート事

業を推進し、乳牛の生涯生産性向上を図ります。

自給飼料対策班を新設し、稲WC Sの普及と低コスト生産技術の開発に努めます。

2. 酪農ヘルパー事業

おかやま酪農ヘルパー利用組合との相互理解の上でヘルパー事業を推進します。

3. 改良登録事業

乳牛の継続した遺伝的改良に取り組み、個体の生涯生産性につなげます。

優良種雄牛精液を斡旋し、能力・強健性・資質向上・体型の改良に努めます。

乳用後継牛の確保につながるよう雌雄分離精液の普及を図ります。

4. 診療・授精・受精卵移植事業

繁殖検診を主体とし、繁殖成績の向上と、乳質指導、飼養管理等の指導診療に努めます。

5. 乳牛流通事業

乳用牛並びに肥育牛等の斡旋、販売を円滑に推進します。

県産後継牛の事業に取り組み、育成牛の確保と、県内、県外預託を推進します。

6. 販売事業

中国生乳販連と連携し、5会員共販体制による機能強化を図ります。

中国生乳販連の5県の乳代金のプール化を実施いたします。

消費者へ「安全・安心・おいしい」岡山県産牛乳をPRし、牛乳・乳製品の消費拡大を図ります。

7. 購買事業

系統機関と協調して効率的な飼料仕入と円滑な安定供給を図ります。

8. 経理

融資業務は、経営指導貸出としての機能充実を図ります。

組合財務の健全保持と適正な運営に努めます。

9. 特別対策室

組合財務の健全保持と適正な運営に努めます。

10. 経営管理

各事業体制の見直しを行い、経費の節減と業務の効率化を図るよう努めます。